

第1回

読みどころ

小中高の8校が集い、子どもたちがまとめた成果を発表しあい、交流会が開かれました。
各校が伝え方を工夫して、とても実りのあるイベントとなりました。



みらいねっ を開催しました!

参加!
教育長も



約80名の子どもたちが、学校生活や地域をよりよくする取組や成果を、他校を交えて発表し合いました!

市立の小学校5校、中学校2校、高等学校1校が参加した今年初の「みらいねっ」。日常的に取り組んでいる「キャリア在り方生き方教育」や「探究的な学び」の実践の発信や他校との交流を通じて、子どもたちの自主・自立、共生・協働の精神、そして「わたしたちのまち川崎」への愛着を育むことを目指す会です。
※「みらいねっ」は、市制100周年記念事業「学校e〜ね★サミット」を契機としたイベントです。

みらいの川崎が楽しみだワン



「探究的な学び」のキャラクター 探検犬「たんまる」
何でも探究したがる好奇心あふれる柴犬。胸の「?」マークがトレードマーク。

令和7(2025)年
10月22日(水)に
川崎市役所
本庁舎で
開催されました!



スライドを活用した取組発表



保護者や関係局の方など多くの方に観覧いただきました!

緊張を
解きほぐし
リラックス〜



サイン交換を通じて他校と交流! アイスブレイキングでお互いが笑顔になりました。



自分たちの取組に自信をもって発表! スライドもわかりやすく作成されていました。

パペットを使ったり



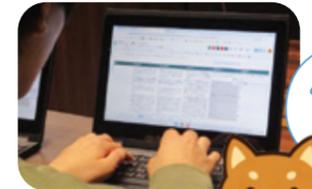
実物を見せたりしながらも!

発表の内容や表現に工夫を凝らしていました。



地域の方に教わったコマ回しも披露!

感想は即時共有



みんなの声が聞けるワン

GIGA端末を活用して、参加者全員の感想をリアルタイムで共有。みんなの反応を感じながら発表が行われました。

感想交流も行いました!

直接伝えることで、さらに交流を深められました。

参加者からうれしい声をもらったよ!

私たちだけでなく他の学校のみんなも川崎の宝を守っていききたいんだな、と思いました!

自分の可能性を広げることができました。学校や地域の活動に活かそうなことがたくさんあったので、とても良かったです。



地域と協力してまちを盛り上げる活動に取り組んだり、地域の人との関わりを増やしていきたいです。

これからの川崎市の未来に期待が膨らみました。そして、これからの未来が楽しみだと思いました。



発表の概要

- 日吉小学校
- 平間小学校
- 新小倉小学校
- 虹ヶ丘小学校
- 東住吉小学校
- 住吉中学校
- 南生田中学校
- 橘高等学校(全日制)

未来クリエイタープロジェクト
~授業も普段の日々も、自分のことは自分で決める!!~

学年行事や授業のゴールなどを自分たちで考え選び、行動しています。自律した人を目指し、自分の力で毎日を楽しくする取組をしています。

未来へつなごう
笑顔も人もあふれる
ひらびなまち

『サステナブルなまち平間』を目指し、地域活性化に取り組んでいます。昨年度の思いを受け継ぎ、パワーアップした『平間公園なかよしフェスティバル』開催に向けて地域の団体や商店等と協力しながら進めています。

未来へのメロディー
~0から創るわたしたちの校歌~

令和7(2025)年度に開校した新小倉小学校。6年生が中心となり、話し合って校歌の歌詞を考え、全校で力を合わせて進めました。学校への思いを込めた、世界に一つだけの校歌づくりです。

虹ヶ丘特産品
~輝け地域と虹の架け橋~

育てたお米や野菜を通して地域と関わり、自然豊かで温かい人やお店に恵まれた地域の良さを感じました。その魅力を交流イベントなどで発信しながら、『住み続けられるまちづくり』や『つくる責任・つかう責任』について学びました。

明日へ! 平和繋ぎ隊

戦後80年の令和7(2025)年、悲惨な戦争を繰り返さないために、私たちが説得力のある語り部になろうと立ち上がりました。紙芝居や絵、歌など思いの表現方法で平和への願いを伝えていきます。

地域と学校をツナギ隊!

「地域と学校の協働の場づくり」として、地域の大人の方と触れ合う活動に積極的に取り組んでいます。2年間で4,000株を超える花植え活動等を通じて、地域の歴史や魅力について理解を深めました。

“よりよく生きる”
~キャリア講演会&異学年交流~

自分の好きなことや得意なことをいかにして、地域の課題を改善し、豊かな未来をデザインする取組を進めています。学年のちがう仲間と課題についてアイデアや意見を交換しました。視点が変わること、新しい考えや意見が生まれます。

「かわプラ・脱炭素」等の社会課題をもとにした探究学習

「かわさきプラスチック循環プロジェクト」や脱炭素社会実現を目指す事業者が抱えている課題について調査し、解決策を提案しました。そのひとつとしてバイオマスプラスチックの普及を考え、認知度を高める方法を提案しました。